安ト前日ノ行過訂正相場ヲ示現シタリ

七月十五日　第二報

本日後場ノ市況左ノ如シ

(一)株式取引所

東株短期後場ハ寄付略ミ保合ナリシモ商状稍ミ軟弱ニシテ騰勢挫ケ大引ハ時局株ノ微弱ナル反落裡ニ終了シ市場ハ引續キ平穏ナリ

(二)商品取引所

諸品何レモ株安ニ追隨シテ商勢不冴ニテ後引ハ大勢弱保合ニ打止メ米ハ猶反動的漸落ノ趨勢ニ在リ

16

昭和十二年七月十三日

週刊時報

(237)

北支事變特輯（二）

外務省情報部

週刊時報 第一三七號 目次

一、帝國政府聲明（七月十一日）……一頁
二、外務當局發表（七月九日）……三頁
三、支那外交部ノ發表（內容）……五頁
四、事變ト支那各地狀況
(1)北平城內ノ狀況……六頁
(2)支那兵ニヨル邦人ノ被害狀況……七頁
(3)天津財界ノ現狀……八頁
五、各國新聞論調
(1)支那紙……九頁
(イ)南京 (ロ)上海 (ハ)天津 (ニ)北平 (ホ)廣東
(ヘ)青島 (ト)漢口 (チ)厦門
(2)蘇聯紙……二一頁
(3)英國紙……二三頁
(4)米國紙……二四頁

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

六、米支間通貨協定成立
(1) 米支共同聲明（七月九日附）……二六頁
(2) 共同聲明註譯（米紙）……二七頁

一、帝國政府聲明（七月十一日）

相踵ク支那側ノ侮日行爲ニ對シ支那駐屯軍ハ隱忍靜觀中ノ處從來我ト提携シテ北支ノ治安ニ任シアリシ第二十九軍ノ七月七日夜半蘆溝橋附近ニ於ケル不法射擊ニ端ヲ發シ該軍ト衝突ノ已ムナキニ至レリ爲ニ平津方面ノ情勢逼迫シ我在留民ハ正ニ危殆ニ瀕スルニ至リシモ我方ハ和平解決ノ望ヲ棄テス事件不擴大ノ方針ニ基キ局地的解決ニ努力シ一旦第二十九軍側ニ於テ和平的解決ヲ承諾シタルニ不拘突如七月十日夜ニ至リ彼ハ不法ニモ更ニ我ヲ攻擊シ再ヒ我軍ニ相當ノ死傷ヲ生スルニ至ラシメ而モ頻ニ第一線ノ兵力ヲ增加シ更ニ西苑ノ部隊ヲ南進セシメ中央軍ニ出動ヲ命スル等武力的準備ヲ進ムルト共ニ平和的交渉ニ應スルノ誠意ナク遂ニ北平ニ於ケル交渉ヲ全面的ニ拒否スルニ至レリ以上ノ事實ニ鑑ミ今次事件ハ全ク支那側ノ計劃的武力抗日ナルコト最早疑ノ餘地ナシ

思フニ北支治安ノ維持カ帝國及滿洲國ニトリ緊急ノ事タルハ玆ニ贅言ヲ要セサル處ニシテ支那側カ不法行爲ハ勿論排日侮日行爲ニ對ス

ル謝罪ヲ爲シ及今後斯カル行爲ナカラシムル爲ノ適當ナル保障等ヲナスコトハ東亞ノ平和維持上極メテ緊要ナリ

仍テ政府ハ本日ノ閣議ニ於テ重大決意ヲ爲シ北支派兵ニ關シ政府トシテ執ルヘキ所要ノ措置ヲナス事ニ決セリ

然レトモ東亞平和ノ維持ハ帝國ノ常ニ顧念スル所ナルヲ以テ政府ハ今後共局面不擴大ノ爲平和的折衝ノ望ヲ捨テス支那側ノ速ナル反省ニヨリテ事態ノ圓滿ナル解決ヲ希望ス又列國權益ノ保全ニ就テハ固ヨリ十分之ヲ考慮セントスルモノナリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、外務當局發表（七月九日）

○蘆溝橋事件ニ關シ外務當局ハ九日左ノ通リ發表シタ。

一、北支駐屯軍ハ北清事變ニ關スル千九百一年ノ連名公書第九條、北清事變ニ關スル最終議定書第九條、及天津還附ニ關スル日清交換公文第四節ノ權利ニ基キ別段地域ヲ限定スル事ナク演習ヲ爲スコトヲ例トシ居レリ、即チ戰鬪射擊（實彈ヲ用フ）ヲ行フ場合ノ外ハ演習ニ付キ個々ノ場合ニ通牒ヲ必要トセス、然ルニ實際上ハ住民ノ不安ヲ除ク爲メ好意的ニ演習ヲ事前ニ通知スルコトトシ居リ今次ハ戰鬪射擊ニ非ルモ事前ニ通知ハ發出シアル筈

二、我駐屯部隊カ不法射擊ヲ受ケタル龍王廟附近（蘆溝橋北側地區ハ民家乏シク地形上演習好適地）ハ昨年ノ秋季演習ヲ始メ殆ト我軍ノ練習場ノ如クナリ居ルモノナリ、又蘆溝橋上下流ノ永定河磧ハ西方高地ヲ目標トスル實彈射擊場トシテ屢々利用セラレツツアリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

三、我駐屯軍ハ最近ハ定期檢閲ヲ前ニ控ヘ居ル關係上連日連夜本件關係地域ニ於テ演習ヲ實施シツツアリタルモノナリ。

四、七日午後十一時過我部隊カ支那側ノ不法射撃ヲ受ケタル際ハ演習中ノ事トテ實彈ハ萬一ノ場合ニ備ヘタル一兵當リ一發位ノ數ニ當ル彈藥ヲ部隊長ノ手元ニ保管シ居リタルノミ（輕機關銃用實彈ハ一函ノミ）ニシテ支那軍ニ應射スルニ足ラス、依テ部隊長ハ直ニ傳令ヲ豐臺駐屯部隊ニ派シ應援ヲ求メ豐臺駐屯部隊ハ實彈ハ勿論歩兵砲ヲモ携ヘテ現場ニ急行支那軍ニ對抗シ八日午前五時ノ射撃交換ノ際我軍ハ初テ實彈ヲ以テ應戰シタルモノナリ。

五、支那側ハ我兵カ蘆溝橋村ノ城壁内ニ入込ミタリト稱シ居ルモ我軍ハ常ニ兵ニ對シ局地的事件ノ發生ヲ警メ居ルノミナラス平常ハ我兵カ城門ヲ通過セントスルモ少數ナル時ハ支那側ノ城門歩哨ニ理由ナク停止ヲ命セラレ兼ネ事端發生ヲ避ケテ通過ヲ強行セサル慣行トナリ居リ、加之演習地ヨリ該城門ニ近付クニハ土手上ニ線路ヲ有スル鐵道ヲ二回横切ルヲ要シ一、二ノ兵カ紛レテ城門ニ近付クコトアリ得ス、又夜間故意ニ危險ヲ求メテ城内ニ入ラントスルコトモアリ得ヘカラス。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

三、支那外交部ノ發表（內容）

「本回ノ事件ハ全ク日本側ノ計畫的行動テアツテ、蘆溝橋ニ於ケル日本軍ノ演習ハ非合法テアル、且兩軍衝突後一旦成立シタ停戰協定ヲ日本側援兵ノ策テ更ニ大規模ノ軍事行動ニ依ツテ目的ノ貫徹ヲ圖ラウトスルモノテアツテ一切ノ責ハ日本軍カ負フヘキテアル、中國ノ國策ハ對外的ニハ平和ヲ擁護シ對內的ニハ生産建設ニ努力スルモノテアリ、日支間ノ諸懸案ハ平等互恵ノ精神ノ下ニ解決ヲ圖ラントスルモノテアル、幸ニ日本側カ軍事行動ヲ停止シテ前約ニ從ツテ戰鬪行爲ヲ停止シ、再衝突ヲ避ケテ不法駐軍ト演習ヲ中止スルナラハ事態ノ好轉ヲ招來シ得ルト確信スル。」

四、事變ト支那各地狀況

(1) 北平城內ノ狀況

「七月十日夜モ北平市內ハ依然戒嚴令布カレ殊ニ警備狀況ハ前夜ニ比シテ、更ニ嚴重テアル。

一、各城門ハ又モ全部閉鎖セラレテ附近ニ土嚢ヲ築イテ居ル、東單牌樓ノ如キハ輕機三ヲ有スル支那兵約三十名カ附近民衆ヲ立退カシメテ居ル、

二、東城ノ大通リハ、本夕ヨリ各横町ニモ三、四名ノ支那兵ヲ配置警戒シテ居ル、

三、午后八時支那兵滿載ノ「トラック」約五十臺カ德勝門ヨリ入城シタ趣テアル、

四、東北大學生ハ市民ト團結シテ便衣隊ヲ組織シタトノ謠言カアル。」

「七月十一日北平市內狀況左ノ通リテアル。

一、晝間ノ市街ハ平常ト大差ナク、電車モ運行シテ居ルカ、城門ハ依然トシテ開放セラレス北寧線モ列車ノ出入カナイ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、夜間ノ警戒ハ事件當日以來益々嚴重トナツテ、最初十一時頃ヨリ交通ヲ遮斷シテ居ツタカ、今夜ノ如キハ八時頃ヨリ交通ヲ禁止シ前門ヨリ西城方面ニ渉ツテ土嚢ヲ増設シ警備シテ居ル、

三、午后八時五十分頃小島研究員三條胡同入口テ支那兵ヨリ銃床ニテ小突カレテ身分ヲ告ケタカ益々イキリ立ツテ足蹴ニサレタル樣ナ狀態テ此ノ種ノ事例弗々發生シテ居ル、尙西城方面ノ鮮人子女ニシテ東城方面ニ避難スル者五十名程アリ、一部居留民ハ稍不安ヲ感シテ來タル模樣テアル。」

(2) 支那兵ニヨル邦人ノ被害狀況

「八日以後發生シタ支那兵ニ依ル在留民被害事件ハ「ガソリン」積載ノ「トラツク」抑留一、擧動不審ノ廉ヲ以テ鮮人ノ身柄抑留二、（人數計六）、戸口調査ノ名目テ行ハレタ鮮人下宿屋ニ對スル金品强奪竝ニ傷害（內地人一名、鮮人二名）一、及邦人ニ對スル居住壓迫一、等テアル。」

(ロ) 天津財界ノ現狀

「七月八日蘆溝橋事件ハ「ニュース」ヲ入手シタ天津支那側財界ハ極メテ冷靜テ一般ニ事件ノ不擴大ト迅速ナル解決ヲ見越シテ、爲替及商品市場共格別變化ハナイ、九日モ依然平靜ヲ續ケ唯公債暴落及綿絲布昻騰ニ關シテ種々取沙汰ヲ爲ス者モアルカ、噂ハ直ニ相場動搖ノ大材料テアル實業部ノ上海交易所暫時停止、取引關係者ノ最高權力筋ヘノ泣付キ換物論等ニ關スル樣ナ狀態ニテ、事件ニ深刻ナル關心ヲ有スル者ハ少ク、爲替、金融、商品、海運各界共營業ハ何等平常ト變ラナイ、新規取引モ行ハレ謠言等少シ。

平津間電話、電信ハ平常通リテアリ、唯平津間列車、平漢線ハ九日不通トナツタカ、商取引場ハ何分夏枯レ期ニ入ツタコトトテ、目先格別ノ影響ナシ、尤モ正定方面ノ棉花ハ鐵道輸送困難トナツタカ、日來ノ降雨ニ正定方面河川ノ水量增加シタ爲弗々水運ニ轉スル樣テアル。」

四、各國新聞論調

(1) 支那紙

(イ) 南京

「漢字新聞ハ、何レモ「華北地方ニ再ヒ滿洲事變ノ前夜訪ツル」「日本ハ計畫的陰謀ニ基イテ演習ニ藉口シテ蘆溝橋ヲ占據セントス」「壯ナル哉、二十九軍蘆溝橋ヲ死守ス」「蘆溝橋ハ遂ニ民族戰爭ヲ爆發セシメタリ」等ノ大見出ヲ以テ、紙面一頁全部ヲ費シテ大々的ニ事件ノ報道ヲナシテ居ルカ。其ノ報道振ハ何レモ大体政府方面指導ノ下ニ、本件カ日本側ノ計畫的挑戰ニ依ツテ起ツタルコト、支那側ノ應戰ハ正當防衛ノ已ムヲ得サルニ出テタルモノテアルコト、支那側ハ事件ノ擴大ヲ欲シナイカ、日本側カ無法ナル挑戰ヲ繰クル以上飽迄應戰スヘキコト、外交部ハ逸早ク日本側ニ嚴重抗議ヲ提出シタ（八日董科長ノ日高參事官來訪ヲ指ス）等、對外及對內的宣傳ニ努メ居ル。」

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（ロ）上海

「英漢字紙ハ何レモ事件ヲ大々的ニ特報シテ居ルカ、概ネ本事件ハ日本軍ノ豫メ計畫シタモノデアルト云フ印象ヲ懐カシメルヤウナ報道振デアル、七月九日ノ大公報、時事新報、申報、新聞報等ハ論説ヲ掲ケテ居ルカ、何レモ事件ハ日本側ノ計畫的挑戰ナリト云フコトニ一致シ、大公報ハ日本ノ對支政策硬化シテ日支間ニ新事態ノ發生スル惧カアツタカ、今次ノ事件ハ其ノ濫觴デアラウ、吾人ハ國權ヲ喪辱シナイ限度ニ於テ外交方式ニ依ツテ事件ノ解決ヲ希望スルモノデアル、宋哲元ハ速ニ北平ニ歸リテ事件ノ解決ニ當ルヘキナリト主張シ、時事新報ハ今次事件ハ日本ノ計畫シタ所デ對英交渉ヲ有利ニ導カントシタモノデアルトノ旨論シタ。」

尚事件發生ト共ニ支那民衆ノ對日感情ハ頗ル險惡化シ、廬山ニ於テ開カレル會議ニテモ對日強硬政策カ強調サレルモノト豫測サレル、北平ニ於テ停戰協定カ成立シタニモ拘ラス日支關係ハ更ニ進ンデ最惡ノ方向ニ急廻轉セントシテ居ル、七月九日ノ支那各紙ハ全紙面ヲ以テ事件ノ推移ヲ詳細報道スルト共ニ、論説ヲ掲ケテ「今回ノ事件

ノ非ハ全ク日本側ニアリ、支那ハ官民一致シテ外侮ニ當リ國權、國土ノ保全ニ努ムヘキテアツテ日本ノ威嚇ニ怖レテハナラヌ」ト極メテ熱烈ナル抗日意識ヲ強調シテ居ル主ナル社説ハ左ノ通リテアル、

△立報

「蘆溝橋事件ハ、日本軍ノ不法攻撃ニ依ツテ生シタ、北支ノ戰亡ハ單ニ北支ノ問題テナクシテ全國ノ重大問題テアル、東北ハ戰ハスシテ失ヒ綏遠ハ戰ツテ全キヲ得タ、今回ノ事件ハ綏遠事件ヨリ遙ニ重大テアル、全國ノ力量卽チ軍力、財力、人力ヲ以テ第二十九軍ヲ援助シテ冀察主權ヲ恢復スヘキテアル、五全大會以後ニ於ケル國民ノ中央信賴ハ歷史上未曾有ノコトテ蔣委員長指導ノ下ニ、主權ヲ喪失シナイ原則ヲ堅守シテ、豐台事件ノ様ニ再ヒ喪權セサルヲ誓フヘキテアル。」

△晨報

「今回ノ事件ハ明カニ日本軍ノ計畫的行動テアルコトカワカル、日本軍事當局ハ國內ノ不人氣ヲ他ニ轉嫁セシメンカ為ニ再ヒ侵略行動ニ出タモノテアル、北支カ特殊事情下ニアル限リ、隨時隨地

テ今回ノ様ナ事件ノ發生ハ已ムヲ得サルコトテ、我々ハ政府カ充分ナル準備ヲ以テ從容事態ニ對處シテ、再ヒ讓歩スルヨウナコトノナイコトヲ信シテ居ル、從テ今回ノ事件ハ更ニ惡化ノ傾向カアル。」

△新聞報

「事件發生後我當局ハ外交手段ニ依ツテ解決セントシテ居ツテ少シモ挑戰ノ意思ハナイ、然シ乍ラ日本軍カ敏速ニ撤退セスシテ改心ノ狀ナキ時ハ、支那軍ハ自衛權ノ發動又國土保全ノ爲唯防禦アルノミテアル、決シテ威嚇ニ屈シテハナラヌ。」

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(ハ)天津

支那新聞ハ何レモ今次ノ事件ノ眞相ハ七月七日、日本軍カ夜間演習ニ於テ、兵卒一名ノ行衛不明ヲ口實トシテ城内ノ捜査ヲ要求シ我方カ深夜治安ノ攪亂ヲ惧レテ之ヲ拒絶シタ處、日本軍ハ不法ニモ攻撃ヲ開始シタコトニ基因スルモノテアツテ、是非曲直極メテ明瞭テアル旨報道シタ。

△大公報（七月九日）

「冀察當局ハ外交的折衝ニ依ツテ之ヲ解決セントシ、吾人モ亦國權ノ喪失ニ亘ラナイ限リ事態ノ擴大ヲ望ムモノテナイカラ宋哲元ハ速ニ北平ニ歸リテ此ノ善策ヲ講スルノ必要カアル、國民ハ中央地方共ニ團結協力シ國策ノ存スル所ニ基イテ、之ヲ後援スヘキテアルカラ節制アル態度ヲ以テ實效ヲ擧クル様ニ行動セラレンコトヲ望ムト論シタ。」

△益世報

「日本ニ對シテ支那ノ無抵抗主義カ過去ノコトニ屬シ土匪、浪人便衣隊等ニヨル政策カ窮極ニ於テ破滅ヲ招來スルコトヲ深ク認識

シ、對支政策ヲ國際道德ノ範疇ニ立脚シナイ以上ハ徒ニ我國民ノ怨恨ヲ重ネテ如何ニ北支經濟合作ニ奔命シテモ徒勞ニ終ランコトヲ忠告ス。」

(二)北　平

蘆溝橋事件ニ關シテ七月九日ノ支那紙ハ一齊ニ大見出ヲ以テ大々的ニ報道シ中ニモ實報及世界日報ハ逸早ク論說ヲ掲ケタカ其ノ要旨左ノ通リテアル。

△實　報

「我軍民ハ睦隣ノ命令ニ從ツテ和平ノ原則ニ基キテ隱忍自重シテ遂ニ讓ラウトシテモ讓リ得ナイ瀬戸際ニ至ツテ始メテ正當防衞ニ出テタノテアル、本事件カ一般ニ傳ヘラルルヤ全國民ハ憤激シ世界亦驚愕シタ、我中央政府ハ既ニ日本政府ニ對シテ嚴重抗議ヲ提出シタカ、右ハ第一歩ノ當然ノ手段テアル、日本ハ玆數年來飜然政策ヲ改メテ、最近ニ至ツテハ近衞公組閣ニ成功シ、川越大使再ヒ赴任セントシテ何レモ中日關係ノ調整ヲ唱道シタカ、之カ調整

方式ニシテ本事件ノ如キモノトセンカ、吾人ハ唯徹底的對策ヲ爲スノミテアル、寧ロ玉碎スルモ瓦全ヲ欲セサルモノナリ。」

△世界日報

「本事件ノ發展ハ豫測シ得ナイカ、近衞内閣成立シテ中日關係好轉ノ空氣濃厚ノ秋ニ至ツテ日本側カ突然事ヲ起シタコトハ、平和ヲ愛好スル中國人士ノ遺憾トスル所テアルコトハ勿論、日支關係ノ調整ヲ頻リニ提唱スル日本側識者ノ痛惜スル所テアル、幸ヒニ事態ハ未タ收拾困難ナル點迄ニ達シテ居ナイカラ、日本側カ他ニ重大企圖ヲ有シナイ限リ速ニ解決シ得ラルルモノト思ハレル、事件發生以來北平市中ニ於ケル秩序ノ安穩ニ保タレテ人民ノ鎭靜テアルコトハ、今日ノ中國カ絶對ニ九〇一八、一〇二八當時ノ中國テナイコトヲ證明スルモノテアリ、又國軍及地方當局カ靜肅ノ態度ヲ持シツツアル事實ハ、中國ニハ寸土ト雖手ヲ拱キテ敵國ニ讓ルカ如キモノテナイコトヲ證明スルモノテアル。」

(ホ)廣東

廣東漢字紙論調要領左ノ通

△中山日報（七月十日）

「日本ハ嚢ニ南京ニ於テ藏本失踪ノ際、遍ニ謠言ヲ作ツテ抗議シタル上兵ヲ動カシ其ノ輕擧妄動ハ天下ノ物笑トナツタカ、今次蘆溝橋事件ニ於テ「銃聲ヲ聞ク」「一名行方不明」ト云ツ理由テ擅ニ入城シタ、九。一八ノ先例ニモ似公理公法ヲ無視スルモノテアル日本ハ政治紊亂シ軍費膨脹、物價騰貴等テ、民衆ハ極度ニ不安ニ陷リ政黨財閥等ノ倒閣運動ハ又起ラントスル秋ニ、少壯軍人ハ現在ノ「ファシスト」政權維持ノ爲ニ民衆ノ眼ヲ外方ニ向ケントシテ、外方ニ對シ事ヲ構ヘントシテ居ルモノテ、今次ノ事件モ其ノ底意ニ出テタルモノテアツテ若シ本件カ擴大スル時ハ東洋平和ノ維持ハ四億中華民族ノ生命ト運命ヲ共ニシテ決定セラルルデアラウ。」

△廣州日報（七月十日）

「中國ノ統一久シカラス東北四省未タニ我カ手ニ歸ラス、平津一帶敵ニ蹂躙セラレテ居ル際又モ日本軍隊ノ攻擊ヲ受ケタト聞クカラニハ國民ハ今コソ起ツテ抗敵禦侮ニ邁進セナクテハナラヌ。」

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

〇環球報（七月十日）

「日本軍ハ演習中一兵卒行衛不明トナリ又銃聲ヲ聞イタトテ縣城ノ捜査ヲ無理ニ要求シ、我方カ之ニ拒否スルヤ自衛ト稱シテ前進シタルモノテ、其ノ故意挑戰ハ至ツテ明カテアル、日本カ本件ヲ擴大セシムルカ否ヤハ判明シナイカ抵抗外侮ノ我國策ハ一定不變テ、大戰カ若シモ免レナケレハ全國民ハ沈着團結シテ、喜ンテ死スルノ覺悟ヲ定メ徒ニ憤激スルコトナク實際的準備ヲ行ハナクテハナラヌ」

〇群聲日報（七月十日）

「華北ノ軍民同胞カ豫テヨリ日本軍ノ鐵蹄下ニ蹂躪ヲ受ケテ居ルコトハ、吾人ノ痛ク憤激スル所テアルカ、川越大使ハ國交調整ヲ交渉シツツアル際、此ノ如キ不幸ナル事件ヲ惹起シタノハ誠ニ失望ニ堪ヘナイ、我國ノ領土ニハ限リアリ暴日ノ野望ハ無限テアルカラ吾人ハ國家民族ノ爲此ノ上讓歩スルコトハ出來ナイ、本事件ハ近衛内閣ノ對支政策ヲ知ル最モ好キ「バロメーター」テアツテ深ク注意ヲ要スル問題テアル。」

〇越華報（十月十日）

「日支間ノ一切ノ紛爭ハ、悉ク武力ヲ以テ前驅ト爲シテ居リ此ノ
ノ日本ノ侵略政策ヲ知ル者ハ今次ノ事件カ、恫喝ノ故智ニ出テタ

モノテアルコトカ明カテアル。」

(ヘ)青　島

△青島時報

「蘆溝橋事件ニ依リテ現ハレタ支那軍ノ力強キ抵抗ト土着民衆極度ノ憤慨ハ河北ノ民心軍心ノ未タ滅ヒナクコレヲ證明スルモノテアル、吾人ハ平和ヲ希望スルカ局地的解決ハ取ラス、根本的ニ河北ノ危機ヲ解除シナイ限リ同様事件ノ續發ノ可能性カアル、河北ノ障碍ヲ除クコトカ國家生存ノ道テアル。

宋哲元カ郷里ニ歸ツテ居リ平津地方時局カ益々險惡トナツテ來タノテ速ニ歸平シテ一切ヲ主事シ國土防守ノ責任ヲ果スヘキテアル、秦徳純、馮治安ハ事變ニ對シ沈靜且不屈ノ態度ヲ執ツタコトハ可トスルカ、更ニ自衛ノ爲國土防衛ノ重責ヲ果サンコトヲ希望スルト同時ニ中央ニ對シテ河北ノ危機ヲ挽回シ河北ヲシテ第二ノ滿洲タラシメサルコトヲ要求スル。」

(ト)漢　口

「漢字紙ハ、一齊ニ第一面全部ヲ之ニ充テテ中央社電ヲ掲載シテ、

本事件ハ天津駐屯軍側カ兵士ノ失踪ヲ口實トシテ宛平縣ヲ占領シヨウトシタ日本側ノ挑戰的態度ニ基因シ、事件ノ責任ハ全ク日本側ニ在ルトテ、筆ヲ揃ヘテ大々的ニ報道シタ、又社説ニ於テ夜間演習中落伍者ヲ出スノハ間々アルコトテ、夜中確認シニクイ加害者ノ捜査ヲ武力ヲ用ヒテ強要スルハ決シテ承諾出來ナイ、支那ハ和平的解決ヲ希望スルケレトモ、隱忍ノ限度ヲ超エレハ自衛ノ措置ヲ講スヘク素ヨリ事件ノ不擴大ヲ希望スルカ今後ノ推移ハ日本軍ノ出方如何ニ懸ツテ居ル、新事件ノ發生ハ意外トスルニ足ラナイカ、日本ハ既定方針ヲ實行シテ華北ヲ併呑セントシテ居リ此ノ計畫ノ達成セラレサル限リ事件ハ發生スルト思ハレル。」

(ナ)廈門

漢字紙ハ七月八日ノ夕刊ヨリ北平、天津、保定等ノ電報ヲ掲ケテ、北支ノ日本軍カ演習ニ名ヲ藉リテ突如トシテ無抵抗ノ支那軍ニ攻撃ヲ開始シタトカ、北支ノ事態急迫シ中國當局ハ不取敢口頭テ抗議ヲ提出シタ等ノ大見出ノ下ニ、非ハ全ク日本側ニ在ルカノヤウナ書振

テ相當「センセーショナル」ノ長文通信ヲ載セテ居ル、

△星光日報

「今次ノ事件ノ直接原因ハ、日本軍カ演習中不足兵員捜査ノ爲ニ宛平城入城ヲ強行シタコトデ、其ノ遠因ハ日本ノ一貫シタ侵略政策ニ在ルコト勿論デアルカ殊ニ北支交通ノ要衝デアル豐臺ヲ手ニ收メタル日本軍トシテハ、冀察政權カ次第ニ中央化シヤウトシテ居ル今日更ニ平漢線ヲ支配スヘク蘆溝橋ニ着目シタコト當然デアツテ、右兩地ヲ日本軍ニ占領セラルルニ於テハ、中央ト冀察トノ聯絡ハ完全ニ遮斷セラルヘク、此ノ意味ヨリシテモ本事件ハ單ナル一衝突トシテ看過シ得ナイ、吾人ハ從來累日支國交改善ノ端ヲ開クカ、斯ノ様ナ事件續發スルニ於テハ日支問題ノ和平解決ハ全ク絶望ト言フヘク、本事件ニ對シテハ此ノ際華北當局ノ決意ト中央ノ全幅的援助ヲ希望シテ已マナイ。」

(2)僞聯紙

七月九日ノ各紙ハ、新選擧法審議ヲ目的トスル中央執行委員會ノ開

催、瑞典外務大臣ノ來訪等、記事輻輳シ居レルニモ拘ラス、何レモ「北支ニ於ケル日本ノ煽動」ナル見出ノ下ニ多大ノ紙面ヲ割キ、今次ノ日支兵衝突事件ニ關スル上海、北平、東京、倫敦ヨリノ「タス」電報等ヲ揭ケテ居ルカ、其ノ要旨ハ、該事件ハ日本側カ突然支那兵ヲ射撃シタニ端ヲ發シタモノテ事態ハ頗ル重大テアル、日本側ノ和平條件ハ頗ル苛酷テアツテ、蘆溝橋ノ日本側ヘノ明渡ヲ要求シテ居ル。日本側ハ且追加的ニ非武裝地帶ノ設定ニ關スル要求ヲモ考慮シツツアルカ右ハ北寧鐵路ヲモ同地帶ニ包含セシメヨウトスルニアル模樣テアル等ノ報道テアル。又「ザ・インダストリアリザーチュ」紙ノ如キハ、國際評論欄ニ於テ、本事件ハ日本側常例ノ煽動ニ出ツルモノテアツテ、上海電報カ日滿軍及飛行機ノ北支國境方面ヘノ移動ヲ報シ居ルノモ決シテ偶然テナイト論シテキル。

(3) 英國紙

七月九日各紙ハ何レモ大々的ニ北平、東京來電等ヲ掲ケ（特ニ「ポスト」、「テレグラフ」及「クロニクル」「ヘラルド」ニ於テ然リ）事件發生ノ非何レニ在リヤニ付テハ、大體各紙トモ日支双方ノ言分ヲ記載セルモ、其ノ中八日在北平「タイムス」特派員發電カ紛爭ハ、支那兵カ日本部隊夜間演習ヲ誤解發砲セルニアルカ如シトセルト、在同地「ヘラルド」「エドガースノウ」發電カ、日本側ハ宋哲元ノ留守ヲ狙ヒ事件ヲ惹起セリトシタノハ目立ツタ。十日ニハ各紙記事ノ範圍モ大ニ縮小シ殆ト全部其ノ九日發特派員電ヲ掲ケ居ルカ事件發生以來、未タ各紙トモ論説ヲ掲ケス。

△「タイムス」 休戰協定實施前數回ノ衝突アリシカ、其ノ最モ重大ナリシハ支那兵ト交替スル爲宛平ニ近ツケル支那「ミリシア」ヲ支那增援隊ト誤リ日本側カ發砲セル件テアル（北平）兩軍ノ撤退ハ最良ノ解決策ニテ、本事件ハ日支双方何レモ豫メ計畫セルコトニアラスト認ム、但シ支那側カ日本兵ノ存在ヲ好マス、之ヲ熟知シ居ル

日本側カ、其ノ武力ヲ示サントスル以上、今後モ双方ノ欲スルトキ何時ニテモ此ノ種紛爭惹起スヘク、之カ根絶ハ關係國政府ノミノ爲シ得ル處ニテ出先軍兵ノ爲シ得ル所ニアラス（上海）

△「テレグラフ」日本軍ハ午前五時休戰ノ報ニ接シ、直ニ射撃ヲ止メタルモ之ヲ知ラサリシ支那側ハ再ヒ砲撃ヲ始メ、日本側モ應戰セルカ間モナク兩者トモ射撃ヲ止メタリ、日本側ハ長辛店駐兵權ヲ求メ、以テ事實上北支鐵道ヲ實現セントスルモノノ如シ（北平）

△「ヘラルド」日本側ハ何等得ル所ナク撤退シ支那側ハ歡喜セリ日本ハヘマヲ遣リ支那ノ抵抗政策ハ強化ス（北平）

△「ガーデアン」ハ事態ハ未タ樂觀ヲ許サス支那紙ハ一齊ニ假令戰爭ヲ賭スモ、日本ニ讓歩ヲ再ヒスル勿レト爲シテ居ル（上海發「ルーター」電）

(4) 米國紙

△紐育「タイムス」（七月九日）（「極東戰線異狀アリ」）

北平郊外ニ於ケル日支軍ノ衝突ハ、日本軍ノ北支ニ於ケル活動ヲ

可能ナラシムル素地ヲ作ツタモノトシテ注意ヲ惹ク。北支駐在日本軍ハ現ニ約一萬ト稱セラレルカ、斯ル日本軍ノ存在ハ北支事態ヲ切迫セシメ、滿洲事變以前ノ滿洲ノ狀態ヲ思ハセルモノカアル。尤モ今次事件ハ結局左程大シタ事ニハナルマイカ、黑龍江事件テ蘇聯ノ弱腰ヲ試驗シタ後ノ日本トシテハ、北支政策遂行ニ付ヨリ多クノ安全感ヲ感シテ居ルノテハナカラウカ。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

六、米支間通貨協定成立

(1) 米支共同聲明（七月九日附）

一九三六年大藏長官ト支那財政部長トノ間ニ行ハレタ會談ノ結果生シタル通貨協調ハ、支那國內經濟及米國貿易ノ雙方ニ利益ヲ與ヘツツ、支那ノ新貨幣制度運用ニ貢獻シ來リタルカ、今ヤ吾人ハ昨年ノ協調ニ更ニ一步ヲ進メタルコトヲ聲明ス（トテ昨年ノ兩國當局ノ聲明要旨ヲ摘錄ス）。今回ノ協定ニ依リ、支那政府ハ米國ヨリ多額（サブスタンシヤル。アマウント）ノ金ヲ購入シ、米國大藏省ハ右ニ依リ支那政府ノ金準備增加ヲ援助スル爲、且一九三四年ノ銀買上法ノ條項ニ從ヒ、支那政府ヨリ更ニ銀ヲ購入スヘシ。

米國大藏省ハ又從來支那中央銀行ヲシテ通貨安定ノ爲、兩國ノ利益擁護ノ條件トシテ、弗爲替ヲ獲得セシメタル取極ノ範圍ヲ擴大スヘシ。大藏長官及支那財政部長ハ、昨年ノ了解ヨリ生シタル有益ナル結果ニ對シ頗ル滿足スルト共ニ、兩者ノ協定ニ更ニ一步ヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

進メタルコトヲ聲明シ得ルヲ欣フ。尚支那ノ幣制改革及通貨安定ノ計畫カ大ナル成功ヲ收メタルコト、及右ハ同時ニ支那ト諸外國、殊ニ支那ノ對外貿易ニ第一位ヲ占ムル米國トノ貿易增進ヲ伴ヒタルコトモ兩者ノ等シク滿足スル所ナリ。（以下略）

(2) 共同聲明註釋（米紙）

七月十日米國新聞ハ前項米支協定成立ニ關スル七月九日附「モルゲンソー」大藏長官及孔祥熙支那財政部長ノ共同聲明ヲ掲載スルト共ニ、右兩氏ノ新聞記者會見ノ模樣並ニ本件ニ關スル各種消息ヲ傳ヘタ。要旨左ノ通。

一、今回ノ協定ハ米支兩國間ノ經濟關係ヲ接近セシムル以外ニ「ワールド。パワー」トシテノ南京政府ノ地位ヲ强化シ、延イテハ日本ノ侵略ニ對スル抵抗ヲ可能ナラシメル。（華府「ポスト」）

二、本協定ハ實際米支兩國間ニ交換セラルヘキ金（銀）ノ額ヲ明カニ

シテ居ナイカ、右ニ關シ孔祥熙財政部長及「モーゲンソー」大藏長官ハ記者ノ問ニ對シ、銀投機ニ利用サレル惧アル故、此ノ際發表セサルヲ可トス、トノ意見ニ一致セル旨答ヘタカ、米國大藏省方面ノ説明ニ依レハ、所謂「多額」（「サブスタンシヤル。アマウント」）トハ一千又ハ五千萬弗程度タラウトノコトデアル。「モ」長官ハ、支那ニ賣却セラルヘキ金ハ大藏省死藏金塊ヨリ充當セラルヘキモ、一（金）ハ現在十一億四千四百五十一萬七百四十三弗ニ上ツテ居リ、且毎週巨額ノ増加ヲナシツツアルコトヲ考慮スレハ、本件賣却ニ依リ死藏問題解決上何程ノ效果アリヤハ疑ハシイ、ト語ツタ。

三、本件金塊賣却値段ハ一「オンス」三十五弗ニテ純量四分ノ一%ヲ加ヘタモノトシ、支那ヨリノ銀買入値段ハ一般相場ニ依リ一「オンス」約四十五仙トスルト共ニ、銀ノ受入ニ對シテハ同時ニ同額ノ銀紙幣ヲ發行スヘキカ故ニ、少クトモ一時ハ通貨ノ膨脹ヲ見ルコトトナラウ。

四、孔財政部長ハ、支那ハ、米國ニ於テ購入スヘキ金ハ之ヲ米國ニ儲ク方針テ、右カ結局支那ニ於ケル紙幣準備トシテ使用セラルル限リ何處ニ於テ保有スルモ差支ナク、支那ノ金保有増加ハ支那ノ貨幣制度ニ關スル信用ヲ高ムルコトトナル、ト語ツタ。

五、「モ」米國大藏長官ハ、本協定ハ出來得ル限リ速ニ實施スヘク、既ニ紐育準備銀行「ハリソン」總裁ト金及銀ノ實際的取引方法ニ付協議シタト語リ、又同樣ノ協定カ他ノ國トモ結ハルヘキヤ否ヤニ付テハ明言シナカツタカ、伯剌西爾政府當局トノ商議ハ或ハ斯ル結果ヲ生スルヤモ知レヌト見ラレテ居ル。

六、本協定ト英、米、佛三國協定トノ關係ニ付テハ、米支協定ハ、米支兩國間ノ聯繫カ、世界各國ノ對外爲替強化ニ貢献スル以外ニ直接關係ナシ、ト「モ」長官ハ答ヘタ。

△第一三七號正誤

頁	行	誤	正
28	5（左ヨリ）	三十五弗ニテ數量	三十五弗ニ手數料

（昭和一二・七・一六 情報委員會）

東京都市遞信局傍聽

外國放送局放送ニュース

遲延セルモ參考迄

十一日 一七〇〇 KPH (Bolinas) (米)

日本ハ北平附近ニ軍隊ヲ集中シツツアリ關東軍ハ熱河ヨリ山海關ヲ通過セリト言ハル他ノ軍隊ハ輸送ノ途中ニ在リ

同盟電日本將校ノ説明ニ依レバ今日ノ事件ハ北平ノ南ニ於テ發端セリ兩者ハ互ニ責任ノナスリ合ヒヲナセリ、兩軍ハ永定河ノ兩側ニアリ、兩軍ハ同時ニ同方面ヨリ撤退ヲ同意スベシ、同盟ハ日本軍ガ先ニ二十九軍ニヨリ占據セラレ居タル蘆溝橋及長辛店ヲ占領セルトキ戰斗ハ再開セリト報ゼリ

十三日 KPH ラヂオニュース

十三日北平

日本ハ今夜長城ヲ越エテ一軍ヲ侵入セシメ、タンク、飛行機重砲ヲ有スル一萬名ヲ北平方

17